

# 稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



いなッピーバス(善光寺)にて



# 新年のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。  
平成24年の新春を迎え会員の皆様には心からお喜び申し上げます。

稲沢市観光協会は発足以来7年目を迎えるようとしています。昨年5月の総会において会長に御推挙いただいた以来、稲沢市の観光事業推進に事務局職員共々全力を傾注してまいりましたが、その間会員皆様方の一方ならぬご協力、ご支援を賜り篤くお礼申し上げます。

昨年3月には「いなざわ梅まつり」、4月の各地「桜まつり」、6月の「稲沢あじさいまつり」、10月の「稲沢まつり」、11月の「そぶえイチョウ黄葉まつり」等各季節に応じた稲沢特産「緑」を生かした行事には、市内外から大勢の人々が訪れ自然を楽しんでいただきました。

また、稲沢市の特産品を紹介する取り組みとして「地産地消のおしゃれな料理教室（パート2）」開催や「特産品紹介」等により本市食文化の普及発展を期してまいりました。

全国に誇れる歴史的資源の活用を図るため、「稲沢観光ガイドマップ」、「稲沢市観光ガイドブック」、「美濃路ウォーキン

グマップ」等の頒布、「いなざわ美濃路まつりウォーキング大会」、「モニターバスツアー」、「いなっぴーバスに乗って観光地を巡ろう」等のイベントを通じて、国府宮神社・稲葉宿跡・荻須記念美術館・国指定重要文化財保有施設等を巡りながら稲沢の歴史・文化についての知識、理解を深める活動を進めてまいりました。

特に昨年11月発表になりました「尾張国分寺跡」の国史跡指定への答申は、稲沢市にとって長年の懸案でした願いが実現し大きな喜びであると共に、今後本市の観光資源の中核として整備・発展に観光協会も協力して行きたいと思っています。

本年も関係機関との連携強化に努め、「第6回いなざわ梅まつり」の開催をはじめ、観光資源の発掘、情報発信の充実を図りながら多くの皆様にお越しいただけるよう努力してまいりますので、会員始め市民の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げますと共に夢先案内人の「いなっぴー」と一緒に、あちこちで皆さんにお逢いできることを楽しみにしながら、新年のごあいさつといたします。

本年もよろしくお願いいたします。



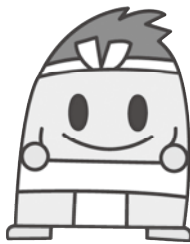
稲沢市観光協会 会長  
服部 義逸



稲沢市のキャッチコピー



稲沢市観光協会 名誉会長  
稲沢市長  
大野 紀明



マスコットキャラクター  
「いなっぴー」

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、平成24年の輝かしい新年をお健やかに迎えることと、心からお喜び申し上げます。また平素より、市政の各般にわたりまして、ご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年3月に発生した東日本大震災では、被災地に甚大な被害を及ぼし、福島原子力発電所の事故による節電対策は、日本経済に大きな影響を及ぼしました。また、観光地は、被害のあった地域だけでなく、全国的に旅行者が著しく減少するなど、深刻な状況となっており、被災地の復興のためにも観光事業の強化、経済活動の活性化が望まれます。

稲沢市観光協会では、昨年3月に開催された「いなざわ梅まつり」には約21,000人の方が訪れ、11月には「いなざわ美濃路まつりウォーキング大会」が長束・梅公園で名鉄ハイキングとのタイアップにより開催され、いずれも大変盛況でありました。また、「いなっぴーバスに乗って観光地を巡ろう」も昨年度に引き続き開催されておりますが、予想以上の反響があったということで、観光事業を積極的に推進、展開していることによるものと思います。このように、観光事業の推進は地域の活性化につながるものであり、今後の

事業の展開に期待するものであります。

稲沢市では、昨年「ゆるキャラ®グランプリ」に稲沢市のマスコットキャラクター「いなっぴー」がエントリーしましたが、全国340体余りのキャラクターがエントリーする中、第13位になりました。平成22年度に引き続き上位に入ることができたことにより、稲沢市と「いなっぴー」の知名度をさらに上げることができたと思っております。皆様のご支援に感謝申し上げます。また、昨年は「いなっぴー音頭」を選定いたしました。全国から29点の応募をいただき、日比野信午さん（稲沢市在住）の作品に決定しました。小さなお子さんから高齢の方まで、親しみの持てる曲となっており、今後は、市内で行われる祭りを始め、幅広く活用していきたいと思っております。

本年も、「安心・安全で元気のある稲沢」を目指し、稲沢市観光協会と連携し、さらに充実した事業を展開するとともに、市民の皆様が誇りと愛着の持てる観光まちづくりの推進に努めてまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとって幸多い良き年となりますよう、心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

## 監事

翠 渡邊 眞佐夫  
香村 哲也

## 参与

橋本 正人  
友松 隆利

服部 正見  
岸 和明

加藤 久昌  
酒井 章治

松岡 進  
土田 正義

金森 信行  
山田 道武

浅野 博  
川瀬 俊治

国立 英夫  
福島 高廣

加藤 睦郎  
右川 康正

服部 憲政  
池田 邦雄

池田 敏夫  
山脇 敬順

山脇 敏夫  
林 正一

田中 省三  
鳥居 正一

近藤 修  
齊藤 茂

白比野 昭光  
伊藤 弘道

大木 和也  
山田 信行

服部 義逸  
大野 紀明

吉川 昭  
鈴木 純

鈴木 純  
鈴木 清

渡辺 菱  
久保田 浩文

顧問  
渡辺 菱

顧問  
久保田 浩文

稲沢市観光協会 役員名簿  
(一月一日現在)

# 謹賀新年

各種イベントに参加し観光PRといなっピーグッズの販売を行い、  
いずれの会場においても大変好評でした。

## 稲沢サンドフェスタ2011

- 期 日／平成23年10月1日(土)～2日(日)
- 場 所／国営木曾三川公園(ワイルドネイチャープラザ)

今年度もイベント開催を2日間とし、砂像の作成期間(9月18日～10月2日)、展示期間(10月3日～10月10日)の様子や完成品を見学できるようになりました。

来場者は、イベント開催の両日とも天候に恵まれ2日(日)に行われた名鉄ハイキングの参加者2,666人を含め、昨年を大幅に上回る44,000人が来場されました。

砂の造形展はテーマを「絆～キズナ～」として10作品が作成され、チーム名「いごっそう」の題名「プレゼント」が金賞の栄冠に輝きました。その他のイベントとしては、砂をイメージした大会(サンドアート体験コーナー、ビーチフラッグス、ビーチバレーボール)等のほか宝さがし大会、サンドフェスタスタンプラリー、飲食店コーナーなどたくさん

さんの催し物が開催され、参加者は夢中になっていました。

また、今年度の「ゆるキャラ®大集合!」では、「いなっピー」を始め近隣の「あいさんさん」、「いちみん」、「きよ丸君」など、県外からも奈良の「せんとくん」、「ねぎっちょ」、「いが☆グリオ」、「ひこちゅう」など35体が出演し、チビっ子達と触れ合い記念写真を撮っていました。

観光協会では、観光コーナーを設置し、稲沢市観光ガイドマップや観光チラシ等で観光PR、いなっピーグッズの販売を行いました。



金賞「プレゼント」(チーム名「いごっそう」)

## 平成23年度 稲沢まつり

- 期 日／平成23年10月15日(土)～16日(日)
- 場 所／国府宮神社参道、稲沢中学校、稲沢市民会館ほか

今年は、初日の15日(土)は前日からの雨で来場者は少なかったものの2日目の16日(日)には天気も回復し多数の来場者で賑わい、両日で86,200人の人出がありました。

各会場で行われたイベントなど活気に充ち溢れ、国府宮神社参道の両側には、地元の出店や側道には露店が立ち並びなかり行き交う人で賑わいました。中でも園児鼓笛隊パレードに出演した園児の姿を必死に追う両親や祖父母の姿が印象的でした。稲沢中学校グラウンドでは、今年初めて催した、「いなっピー銀杏千人カレー」は好評で両日とも早々に無くなりました。また、ミニSLやふわふわランドにはちびっ子の行列がで

大人気でした。市民会館では、テレビでもおなじみの稲沢市出身のミュージカル歌手「新妻聖子さんやご当地アイドルとして8月にデビューした「LOVE♥INA30」のコンサート、稲沢音楽祭、秋の芸術祭、芸能発表会、手遊び講座等多彩な催しが行われました。

観光協会では、観光ボランティアの協力を得て稲沢市の観光PR、いなっピーグッズの販売を行いました。



## ゆるキャラ®まつりin彦根等 ～キグミさみっと2011～

- 期 日／平成23年10月22日(土)～23日(日)
- 場 所／彦根中心市街地商店街一帯

初日早朝から降っていた雨もイベント開催時には上がり、海外を含め全国各地から彦根市に着ぐるみキャラクター210体が集合し世界で一番参加キャラ数が多いイベントとなり、2日間の来場者数は、78,000人を越え、メイン会場となっていた夢京橋キャスルロードは歩くこともままならない状況でした。

観光協会は市と共に稲沢市をPRするため今年も参加しました。PRステージでは、それぞれのキャラクターがご当地自慢を行い、「いなっピー」が稲沢市を大いにアピールしてきました。また、「いなっピー」は多くの来場者との写真撮影にも応じ人気を博しておりました。同時に会場で開催された「ゆるキャラ®ふれあい物産展」では、観光パン

フレットの配布、いなっピーグッズの販売も行い、稲沢市のPRを行ってきました。

また、昨年は、ゆるキャラ®まつりのサブイベントとして実施されましたゆるキャラ®グランプリが、今年度は別に開催され、パソコンからの投票も可能となり携帯電話併せ約330万票の投票がされました。「いなっピー」の結果は、皆様のご協力によりエントリーした349体中13位となることができました。



## いなざわ美濃路まつりウォーキング “みんなでいこまいかあ”～稲沢へ!!

- 期 日／平成23年11月6日(日)
- 場 所／長束・梅公園

美濃路は、東海道を宮の宿から分かれ、名古屋城下、清須宿、稲葉宿、萩原宿、起宿、墨俣宿、大垣宿を経て、中山道の垂井宿に合流する14里24町15間(約57.5km)の脇街道です。

江戸300年の間、將軍、大名、琉球使節、朝鮮通信使、將軍への献上の茶壺のほか、時には象が通過するなど往来は賑わいました。中山道の脇往還として中山道と東海道を結んでいることから、政治的にも経済的にも重視されていました。

この美濃路は、稲沢市内を8.5km通っており、美濃路を再発見していただくため、美濃路ウォーキングマップを街道沿いの商店の皆さん方のご協力により作成いたしました。

今年度も、昨年に引き続き、この美濃路をウォーキングすることにより、美濃路の歴史を感じさせる風情を楽しんでいただくため、美濃路まつりウォーキング大会を開催いたしました。

早朝からの雨も上がり、長束・梅公園(長束町)では、美濃路まつりとして、ウォーキングされる皆さんに、観光ボランティアによる稲沢市の観光案内を始め

もてなしとして、豚汁の無料接待を行いました。

「いなっピー」も会場に現れ、それを楽しみにしてきた子供たちは、「いなっピー」のまわり集まり、絶えず子供たちがたわむれ、その人気のすごさに驚かされました。

この行事は、名鉄ハイキングと共催ということで、名鉄ハイキングの参加者1,507人を含め、直接美濃路まつり会場に来られた方を含め全体で1,900人の方で賑わいました。



## 第14回 そぶえイチョウ黄葉まつり

～日本の黄金色 眺めてよし 翡翠(ひすい)色銀杏 食べてよし～

第14回祖父江イチョウ黄葉まつりが、11月19日(土)～11月27日(日)の9日間に渡り開催されました。初日の19日(土)は、あいにくの大雨のなか、大村愛知県知事、大野稲沢市長、国会議員等々の多くの来賓をお迎えし、オープニングセレモニーやイベント・アトラクションなど盛りだくさんの催し物が開催されました。

今年も、テレビ局、ラジオ局等の報道関係から銀杏料理やイチョウ黄葉について、各種番組等に多く取りあげていただいた影響もあり、県内外から交通手段、イチョウ黄葉の見頃についての問い合わせなども頻繁にありました。期間中の、祝日、土曜日、日曜日には、イベントも開催され、祐専寺周辺に出店した飲食コーナーや物販店にも見物客が多く訪れ、地元の人たちも銀杏の販売に追われていました。

27日には、人力車に乗って「イチョウ散策ツアー」、「LOVE♥I NA30」の路上コンサートも開催され大好評でした。

観光協会では、市内外からイチョウ黄葉を見に来ていただいた

●期 日／平成23年11月19日(土)～27日(日)

●場 所／祖父江町体育館会場、山崎会場(祐専寺及び周辺)

観光客の方々に稲沢市の観光ガイドマップや地元にある祖父江善光寺、尾張七福神めぐり、荻須記念美術館などのチラシによる観光案内や、いなっピーグッズの販売を通して稲沢市のPRも行いました。

今年のイチョウの黄葉は、温暖な気温のため、色付きが遅く、まつり期間を過ぎた11月末頃から12月上旬までが見ごろとなり、祖父江飲食店組合の飲食コーナーや特産品の販売店や地元の人たちによる銀杏の販売などが継続され、山崎地区では黄葉を楽しむため多くの人々が訪れていました。



## モニターバスツアー

～国府宮神社と信長ゆかりの地めぐり～

観光協会では、市内の文化財等を皆様にご覧いただくため、国府宮神社とNHKテレビで放映の大河ドラマ「江～姫たちの戦国」の館など信長ゆかりの地を巡るモニターバスツアーを計画し参加者を募集したところ、マスコミ等に報道されたこともあり、市外の18人を含め定員の80人を上回る応募がありました。

コースの国府宮神社では正式参拝後、神主から通常では聞かれない神社の歴史や「いわくら」の紹介を受けることができました。見学先となったすべての寺院では住職から法話や所蔵の仏像等の説明をしていただくこともできました。勝幡城跡では、歴史ボランティアによる説明やうつせ隊による踊りの披露などもあり、いろ

●期 日／平成23年9月29日(木)

●場 所／国府宮神社ー長福寺ー勝幡城跡ー清洲城ー大河ドラマ江の館ー総見院ー亀翁寺ー長光寺

いろ趣向を凝らしたツアーとなりました。

参加者のアンケート結果では、満足と答えた方が78%、次回も参加したいと答えた方が85%となっており、参加者には大変好評でした。



## いなっピーバスに乗って観光地を巡ろう

～秋です。いなっピーバスに乗って自然の風情と歴史・文化を楽しもう～

観光協会では、市内外の方々に稲沢市観光スポットを知っていただくため、市内の観光地を回る巡回バスを一日8便(1時間おき)運行しました。

運行に当っては、昨年実施のいなっピーバスを参考に、実施時期、乗降場所の選定、料金(500円)の設定、コースの目玉として荻須画伯の生誕110年記念特別展の荻須記念美術館、そぶえイチョウ黄葉まつりの開催に併せるなどして、参加者を募集しました。

当日は小雨の予報でしたが、募集に当たってはマスコミ等の報道により130人の参加があり、半数以上が市外からの参加でした。バスによっては立ち客が出るほどの盛況でした。

参加者は、観光ボランティアによる案内や観光協会が作成した手作りマップを手に随所を巡りながら、ちょっぴりプレゼントに協賛していただいたお店へ立寄るなど1日楽しく観光地の散策をしていただきました。

アンケート結果を見ても、[満足]と答えた人が67%と多く、ま

●期 日／平成23年11月23日(水・祝)

●コース／市役所ー荻須記念美術館ー国府宮駅ー稲葉宿Aー稲葉宿Bー森上駅ーそぶえイチョウ黄葉まつり会場ーふれあいの郷ー刈萱堂ー地泉院ー善光寺ー祖父江支所ー森上駅ー矢合観音前ー市役所

た次回も参加したいとコメントされた方も多数見え、参加者自身が観光スポットを選択する参画型バスツアーに対する評価もされました。

また、スタンプラリーにも多数の方が応募され、厳正な抽選の結果、「はっぴいなっピー賞(ぎんなん)」に川口さん始め10人、「らっきーいなっピー賞(ピンバッジ)」に井本さん始め10人の方が当選され、賞品を発送させていただきました。



## 「いなっピーグッズ」の販売場所が一部変わりました。

新たに、アピタ稲沢東店で1月21日から販売を開始します。なお、ヨシツヤ祖父江店での販売は終了しました。

### 販売店一覧

アピタ稲沢店、アピタ稲沢東店、ヨシツヤ新稲沢店・平和店、  
宝竹食堂(稲沢市役所内・市民会館内・勤労福祉会館内)、稲沢市観光協会

## 01 天下の奇祭『国府宮はだか祭』


●平成24年2月4日(土) ●場所/尾張大國霊神社(国府宮神社) TEL0587-23-2121  
 ●交通/名鉄名古屋本線『国府宮』駅下車 徒歩5分・JR東海道本線『稲沢』駅下車 徒歩15分

「はだか祭」は、正しくは「儼追神事(なおいしんじ)」と言います。今から約1240年前、奈良時代の神護景雲元年(767年)称徳天皇が、「全国の国分寺に悪疫退散を祈れ」と勅命を発した時、尾張国司が尾張総社である尾張大國霊神社で厄払いをしたのが、儼追神事となって現在まで伝えられています。

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮神社一帯は祭りの興奮に包まれます。

祭りは、42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円からサラシのフンドシ、白足袋をつけただけの数千人の裸男が、裸になれない老若男女が願いを込めた布(なおいぎれ)を結びつけた青竹を、裸男が身代わりとして担ぎ込み厄除けを祈願するものです。

また、国府宮神社参道では、神男(しんおとこ)に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみ合います。



① なおいしんじ しめばらたてしき  
儼追神事(はだか祭) 標柱建式

旧暦正月2日午前9時に行われる標柱建式。「儼追神事」と大書された標柱が神社正面に建てられ、祭りの開幕を告げます。



② なおいにん(しんおとこ) せんていしき  
儼負人(神男) 選定式

続いて午前10時、志願者を儼追殿に集めてその年の神男を選定。神男は3日3晩、儼追殿にこもり祭りの本番にそなえます。



③ おおかがみもちほうのう  
大鏡餅奉納

お供えとして奉納される大鏡餅は、なんと50俵どり(約4トン)という巨大な代物。祭りの前日、神男に迎えられ拝殿へ納められます。



④ なおいしんじ  
儼追神事(はだか祭)

旧暦正月13日午後3時過ぎ、神男に触れて厄を落とそうとする裸男たちが神男を待ち構えて揉み合う。そこへ神男がとびこみ、祭りはクライマックスを迎えます。



⑤ よなおいしんじ  
夜儼追神事

翌日の午前3時、災厄をつきこんだ土餅を背負った神男が境外へと追い出されます。神官はこの餅を地中に埋め、災厄を封じ込めます。



⑥ おおかがみもちもちきりはじめ  
大鏡餅餅切始

旧暦正月14日午前8時からは大鏡餅を切って参拝者に授与。この餅を食べると無病息災の言い伝えがあり、多くの参拝者が集まります。

### ◆はだか祭関係行事日程表(平成24年)

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
1月24日(火)	午前9時	① なおいしんじしめばらたてしき 儼追神事標柱建式	正月2日
1月24日(火)	午前10時	② なおいにん(しんおとこ)せんていしき 儼負人(神男)選定式	正月2日
1月28日(土)	午前9時	おおかがみもちこめあ 大鏡餅米洗い	正月6日
1月29日(日)	午前5時	おおかがみもちつき 大鏡餅搗	正月7日
1月29日(日)	午前9時	くわがたさい 鉾形祭	正月7日
2月1日(水)	午後5時	なおいにん(しんおとこ)さんろう 儼負人(神男)参籠	正月10日
2月2日(木)	午前9時	おおかがみもちかざりつけ 大鏡餅飾付	正月11日
2月2日(木)	午前9時	つちもちつきしんじならびにひふしたため 土餅搗神事並秘符認	正月11日

月日	時刻	祭典・行事	旧暦月日
2月3日(金)	午後1時	③ おおかがみもちほうのう 大鏡餅奉納	正月12日
2月3日(金)	午後7時	ちようやしんじ 庁舎神事	正月12日
2月4日(土)	午後3時	④ なおいしんじ 儼追神事(はだか祭)	正月13日
2月5日(日)	午前3時	⑤ よなおいしんじ 夜儼追神事	正月14日
2月5日(日)	午前8時	⑥ おおかがみもちもちきりはじめ 大鏡餅餅切始	正月14日
2月8日(水)	午後7時	まといしんじ 的射神事	正月17日
2月12日(日)	午前9時30分	ちやかい なおい茶会	

## 稲沢市観光協会会員を募集しています

会費：法人会員 一口5,000円以上 / 個人会員 一口1,000円以上

平成18年8月7日に稲沢市観光協会が設立してはや7年目を迎えようとしています。会員の皆様方のご理解とご協力によりまして事業も着実に進んでいるところです。

今後さらに観光都市として、市内外からのお客様へのおもてなしのため、観光施設や特産品など観光資源の整備はもとより、歴史、文化、景観といった地域観光への体験機会や情報発信などの拡充が必要です。

そこで、稲沢市の観光振興を図るため、観光協会の組織基盤の強化と活性化のため、多くの会員を募集いたします。お知り合いなどで未加入の方がお見えになりましたら、是非、会員への勧誘をお願いいたします。

# EVENT-information

## “みんなでいこまいかあ～”稲沢へ!!

### 02 第6回いなざわ梅まつり

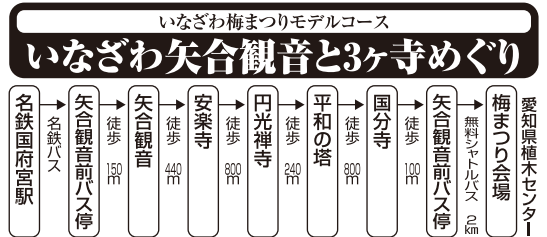
●平成24年3月3日(土)・4日(日) ●AM9:30~PM4:00  
 ●場所/愛知県植木センター

稲沢市は全国的に植木、苗木の日本4大生産地の一つとして知られており、植木、苗木の研究・研修機関として愛知県植木センターが開設されています。園内には多種多様な樹木が集められており、四季折々に花が咲いております。とりわけ、梅品種は104種類、200本余の梅が栽培されており、全国的にも大変貴重な見本園であり開花時期には多数の見学者で賑わいます。

早春に美しい花を咲かせる梅の花を皆様にご堪能していただくため、愛知県植木センターの協力を得まして第6回いなざわ梅まつりを開催します

〈イベント〉

内容	日時
写真コンテスト	2月27日(月)~3月4日(日) 執務時間中
俳句大会	2月27日(月)~3月4日(日) 執務時間中
稲沢市特産品の販売	3月3日(土)~3月4日(日)
飲食コーナー	3月3日(土)~3月4日(日)
お抹茶コーナー	3月3日(土)~3月4日(日)
植木・苗木の販売	3月3日(土)~3月4日(日)
郵便局切手販売	3月3日(土)~3月4日(日)
樹木医により緑化相談	3月3日(土)~3月4日(日)
植木ウオッチング	3月3日(土)~3月4日(日)
竹細工	3月3日(土)~3月4日(日)
子供向けコーナー	3月3日(土)~3月4日(日)
ゆるキャラ®ふわふわステージ	3月3日(土)~3月4日(日)
県職員による尺八と琴による演奏会	3月3日(日)
盆梅展・お雛様等	2月28日(火)~3月4日(日)
写真・俳句大会入選者作品展	2月21日(火)~3月4日(日)
愛知県立一宮高等技術専門校 稲沢校舎 総合造園科開放	3月3日(土)~3月4日(日)
名鉄ハイキング	3月3日(土)



### 03 へいわさくらまつり

●平成24年4月7日(土)  
 ●場所/平和町体育館

《イベント》ステージイベント、飲食コーナー、抽選会など  
 平和町には、総延長約2,800メートルを桜並木でつないでいる桜ネックレスがあります。ここには八重桜を中心に58種類の里桜1400本が咲き誇り、3月から4月末まで楽しむことができます。



### 04 稲沢桜まつり

●平成24年4月7日(土)  
 ●場所/国府宮神社参道一帯

《イベント》ステージイベント、茶会、写生大会、飲食コーナー等  
 国府宮神社参道に咲く満開の桜の下で、茶会や演奏会、写生大会などの催しが開かれます。夜には桜をライトアップし、美しい桜が浮かび上がります。



## 稲沢市キャンペーン・レディーを募集

市の観光事業やイベントなどをより一層華やかに盛り上げるため、歴史と文化のまちにふさわしい、理知的で活動的な方を募集します。

募集人員：3人

- 応募資格：① 満18歳～満30歳までの女性  
 ② 市及び観光協会等の事業に1年間参加できる方  
 ③ 親権者、雇用主の承諾を得た方  
 ④ 類似した職務の任期中でない方

応募期間：平成24年1月6日(金)～1月31日(火)

応募方法：申込用紙に必要事項を記入し、上半身の写真を添えて稲沢市観光協会へ

申込用紙：稲沢市(本庁、支所、市民センター)及び観光協会にあります  
 面接審査：2月中旬予定

主な業務：市及び観光協会等が開催するイベント、各種行事のPR活動  
 任期：平成24年4月1日～平成25年3月31日

- その他：① 日当 9,200円 ② 交通費、食費は支給しません  
 ③ 被服その他装飾品は貸与します  
 ④ 勤務中の災害は加入保険の範囲で補償します

問合せ先：稲沢市観光協会 電話 0587-22-1414